



摩周のふくし

発行／社会福祉法人 弟子屈町社会福祉協議会



弟子屈町中央2丁目10番25号 社会老人福祉センター内 (☎015-482-1054・FAX482-1236)



去る3月27日(火)、弟子屈町ボランティア連絡協議会と、弟子屈町社会福祉協議会が主催となって、「平成29年度ボランティアの集い」を社会老人福祉センターを会場に開催しました。

午前の部では、釧路赤十字病院の小笠原看護師長、道見看護係長を講師に招き、「赤十字の活動」や「災害時高齢者生活支援講習」についてご講演頂きました。

災害時のボランティアの心得や高齢者を支援するために必要なこととお話し頂きました。講演終了後には、前日からの準備していた豚汁とおにぎりを食べて交流しました。

午後の部では、ボランティアの皆さんで協力して、町民の方々からお寄せいただいた「古切手」の整理を行いました。



この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。

平成30年度 弟子屈町 社協事業計画

基本 目標

◆誰もが安心して暮らせる
まちづくり

◆安全・安心・福祉のまちづくり



みんなが支え合う地域づくり

ボランティア活動の支援

●ボランティアセンター運営事業の推進

町民に広くボランティア活動への関心と理解を深めていただくため、ボランティアの登録や斡旋、研修会などを行います。

●寄贈品の配分及び管理の実施

雑巾、紙おむつ、清拭布など、町民からの寄贈品の管理と、希望する施設等への配分を行います。

●リングプル等収集活動事業への支援

リングプル、使用済み切手、エコキャップ、書き損じハガキなどの収集活動への支援を行います。

●災害ボランティアへの支援

災害ボランティアとして登録している方の活動に対しての支援を行うとともに、災害ボランティア活動マニュアルを策定し災害に備えます。

●日赤奉仕団への支援

日赤奉仕団に登録している方の活動に対しての支援を行います。

●有償ボランティアの検討・実施

ボランティア活動が継続できるよう、有償ボランティアについての検討を行います。

子育て支援の推進

●子育てサポート事業の推進

何らかの理由により、保護者（利用者）がこどもの育児援助を必要とした場合、地域住民が協力者として支援を行います。

●レスパイト事業の推進

障がいを持つこどもを一時的に預かり、保護者に休息の時間を創出し、その時間を有効活用してもらうとともに、保護者との交流や研修会等を行います。



生活基盤の確保

●愛情銀行業務の相談対応

日常生活上の一時的な出費による生活困難な町民に対し、応急的な経済援助として資金貸付を行います。

●生活福祉資金の相談対応

道社協との連絡調整のもと、町民に対し制度の周知と貸付相談業務及び償還指導を行います。

事業方針

近年、少子高齢化の急速な進展、核家族化、暮らしや価値観も多種多様化し公的な福祉サービスだけでは対応できない地域における生活課題も顕在化してきています。

さらに、団塊世代が後期高齢者となる2025年を見据え、公的な支援制度だけでなく地域における多様なささえあいの仕組み作りが求められています。

弟子屈町目標の「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を基本として、安心して地域で暮らすことのできる地域福祉の推進を目指します。

ボランティア意識の啓発

●中・高校生ワークキャンプ事業の実施

夏休み期間中を中心に、町内の社会福祉施設での学習体験や体験講座を通じ、中・高校生のボランティア活動への理解と、地域における福祉教育とボランティア活動の振興を図ります。

●福祉教育推進事業の実施

学校等のボランティア活動の交流の場として、相互の情報交換と交流を図るため「学校ボランティア連絡協議会」を開催します。

●児童・生徒のボランティア活動支援事業の実施

町内の小・中学校、高等学校を対象に福祉に関する学習の機会を提供し、体験・交流活動を推進することでボランティアの心と連携の精神を養うため、協力校を指定しその活動支援を行います。



住民の交流推進

●待合室「みちくさ」の支援

ボランティアによる運営で、こどもから高齢者までが気軽に立ち寄り「休息・待ち合わせ・情報交換の場」として活用できる場所の提供と施設の管理を行い、運営を支援します。

●ふれあいサロン事業の推進

待合室「みちくさ」を拠点に、自宅に閉じこもりがちの高齢の方々が一堂に会し、交流や意見交換を行うふれあいの場を提供します。

●高齢者サロン活動支援事業の推進

各地域で近隣者等の地域サロンサポーターがサロンを開催し、高齢者と交流する体制をつくり、事業の推進を図ります。

●サロンサポーターの育成

サロンサポーターの育成を図り、各サロンの普及に努めます。

●ひとり暮らし高齢者への布絵ハガキの送付支援

町内在住のひとり暮らし高齢者を対象に、布絵サークルの会員が作製した季節ごとの布絵ハガキを送り、孤立感の解消を図ります。

●行事用テントの貸出し及び管理

町内の団体が行事等で使用するテントを無償で貸出し、地域の交流を支援します。

みんなが安心して生活できる地域づくり

介護保険サービス等の拡充

●訪問介護事業等の拡充

訪問介護員が、要介護者の家庭を訪問して入浴・排泄・食事等の身体介護や調理・洗濯・掃除等の家事援助、生活等に関する相談・助言等、日常生活上のお世話を行います。

●居宅介護支援事業の拡充

居宅において日常生活を営むために必要な保健医療サービスまたは福祉サービス（指定居宅サービス等）を適切に利用できるように、要介護者とサービス提供事業者や行政との連絡・調整を行います。

●デイサービス事業の拡充

要支援・要介護認定を受けた高齢者を対象にデイサービスセンターに送迎で通所していただき、入浴・食事・レクリエーション等のサービスの提供を行うことで、利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図ります。

地域福祉権利擁護事業等の実施

●日常生活自立支援事業の実施

認知症や知的障がいなどで在宅生活を行っている判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用援助や、生活費等の管理に不安を抱えている方へ、道社協より委託を受け援助サービスを行います。

●法人後見事業（成年後見）の実施

認知症や知的障がいなどにより意思決定が困難な方の判断能力を補うため、弟子屈町社協（法人）が後見人となり、後見支援員の協力を得ながら財産管理や身上保護を行います。

●市民後見人養成研修・フォローアップ研修の実施

認知症等により判断能力が不十分な方の権利を守り支援する市民後見人を養成するため、必要な知識等が習得できるよう市民後見人養成研修とフォローアップ研修を開催し地域の権利擁護体制の充実を図ります。

在宅福祉サービスの実施

●入浴サービス事業の実施

家庭において入浴の困難な寝たきり老人等に対して、週1回（水曜日）特殊浴槽を利用して入浴サービスを行います。

●移送サービス事業の実施

疾病や高齢化により身体機能の低下した者で、公共交通機関等を利用して通院することが困難な町民に対し、移送サービスを行います。

●訪問サービス事業の実施（釧路ヤクルトに委託）

安否確認や励ましが必要と思われるひとり暮らしの70歳以上の町民を対象に、ヤクルト販売員が乳酸菌飲料を持参して訪問し、安否確認を行います。

●老人世帯等除雪援助事業の実施

自宅前通路を自力で除雪することが困難な、おおむね70歳以上の高齢者世帯及び重度心身障がい者世帯に対し除雪援助を行い、避難通路の確保を行います。

●給食サービス事業の実施（摩周湖農協に委託）

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯で食事を作ることが困難な世帯に定期的に食事を届け、食事の確保と安否確認を行います。

●雪下ろし費用助成事業の実施

おおむね70歳以上の高齢者世帯または障がい者世帯で落雪等による危険があると判断された世帯に対して、雪下ろし費用の一部助成を行います。

●高齢者等生きがい活動支援通所事業の実施

居宅で生活する要介護認定非該当の高齢者を対象に、デイサービスセンターにて食事やレクリエーション等のサービスの提供を行います。

●高齢者等軽度生活援助事業の実施

居宅で生活する要介護認定非該当の高齢者に、訪問介護員が居宅内の清掃などの軽易な日常生活の援助を行います。

相談体制の充実

●心配ごと相談所の運営・推進

町民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言・援助を行い、地域住民の福祉増進を図るため相談員を設置し相談業務を行います。

地域福祉を支え、頼りになる社協づくり

社協基盤の強化

●法人運営体制の強化

地域福祉を推進する法人としての役割を果たし、地域住民から信頼される組織・運営体制の確立とともに、自立した法人運営を目指します。

●共同募金事業への協力・支援

地域に活用される募金制度の理解に努めるとともに、共同募金を財源とする各種事業のPRと活用方法の周知を行い、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい運動に協力支援します。

●福祉関係団体の事務局担務

弟子屈町遺族会、弟子屈町老人クラブ連合会、弟子屈町共同募金委員会、弟子屈町ボランティア連絡協議会等福祉関係団体の事務局を担い、適正な運営による基盤の強化を図ります。

●高齢者就労センターの運営強化

高齢者の経験と技術を活かし、地域に貢献できるよう、働く機会と生きがいを提供するとともに運営の強化を図ります。

●収益事業の検討・実施

収益事業の検討を行い、事業を実施することで基盤の強化を図ります。

地域福祉実践計画の適正運用

●第4期地域福祉実践計画の評価検証

平成24年度に策定した第4期地域福祉実践計画の評価と検証を行います。

●第5期地域福祉実践計画の策定と管理

地域の福祉活動の方向性を示すことを目的として、第5期弟子屈町地域福祉実践計画を策定し推進状況の管理を行います。

社協事業の住民理解の推進

●社協だより「摩周のふくし」の充実

社会福祉協議会の理解を推進するために住民へのきめ細やかな情報の提供を行います。

●実践計画ダイジェスト版の策定

第5期弟子屈町地域福祉実践計画のダイジェスト版を策定し、社協事業の住民理解を図ります。

●ホームページの管理

社協の情報発信を行うホームページの管理を行います。

平成30年度 弟子屈町 社協資金収支予算書

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減額	摘 要・内 訳
会 費 収 入	1,160	1,200	△40	一般会費@500×1,000戸/賛助会費@2,000×350戸
寄 付 金 収 入	300	300	0	一般寄付金
経常経費・補助金収入	43,403	43,700	△297	町補助金 42,398 (職員設置費 23,900/事務費 2,100/福祉団体運営費 440/在宅福祉サービス 14,129/日常生活自立支援事業 420/みちくさ 549/Vセンター 860) /共同募金配分金 1,005
受 託 金 収 入	24,227	26,803	△2,576	町受託金 24,047 (コミュニケーション支援事業 26/福祉センター 2,493/成年後見 1,832/介護予防事業 2,776/就労センター 16,920) /道社協受託金 180 (日常生活自立支援事業 150/生活福祉資金事務費 30)
貸 付 事 業 収 入	494	684	△190	愛情銀行償還金
事 業 収 入	6,127	5,822	305	給食サービス利用者負担金@430×14,250食
負 担 金 収 入	936	0	936	
介 護 保 険 収 入	70,518	67,627	2,891	訪問介護 10,889/居宅介護支援 8,902/ デイサービス 50,727
障害福祉サービス等事業収入	2,040	2,064	△24	訪問介護事業
受取利息配当金収入	6	8	△2	預金利息
そ の 他 の 収 入	34	40	△6	雑収入
事業活動収入計(1)	149,245	148,248	997	
人 件 費 支 出	80,790	79,952	838	法人運営 24,147/福祉センター 240/成年後見 619/日常生活 420/Vセンター 1,269/介護予防 163/訪問介護 11,490/居宅介護 8,191/デイサービス 34,251
事業費支出	51,685	52,785	△1,100	法人運営 566/在宅福祉 19,956/みちくさ 1,170/介護予防 2,503/訪問介護 753/デイサービス 10,427/就労センター 16,310
事務費支出	14,529	14,181	348	法人運営 2,635/福祉センター 2,253/成年後見 1,213/日常生活 150/Vセンター 51/介護予防 110/生活福祉資金 30/愛情銀行 25/訪問介護 687/居宅介護 712/デイサービス 6,051/就労センター 612
貸 付 事 業 支 出	450	650	△200	愛情銀行貸付金
共同募金配分金事業費支出	1,005	987	18	老人福祉活動費 80/障害児・者福祉活動費 145/福祉育成・援助活動費 495/V活動育成事業費 185/歳末たすけあい 100
助 成 金 支 出	766	766	0	福祉団体助成金 440/コミュニケーション支援事業 26/雪下ろし費用助成事業 300
流動資産評価損等による資金減少額	20	10	10	愛情銀行徴収不能額、行旅放浪人旅費
事業活動支出計(2)	149,245	149,331	△86	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	△1,083	1,083	
施設整備等収入計(4)				
施設整備等支出計(5)				
施設整備資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動収入計(7)				
その他の活動支出計(8)				
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
予 備 費 支 出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)				
前期末支払資金残高(12)	32,384	33,467	△1,083	
当期末支払資金残高(11)+(12)	32,384	32,384	0	



拠点区分別 予算内訳

4ページ予算書を
拠点区分別に
まとめた内訳です。

拠点区分

社協事業

(法人運営事業・在宅福祉サービス事業・福祉センター管理事業・権利擁護事業・地域福祉推進事業・ボランティアセンター事業・介護予防事業・生活福祉資金貸付事業・愛情銀行事業)

(単位：千円)

科目	本年度予算額
収入	1,160
寄付金収入	300
経常経費補助金収入	43,403
受託金収入	7,307
事業収入	6,127
負担金収入	936
貸付事業収入	494
受取利息配当金収入	2
その他の収入	32
事業活動収入計(1)	59,761

科目	本年度予算額
人件費支出	26,858
事業費支出	24,195
事務費支出	6,467
助成金支出	766
共同募金配分金事業費支出	1,005
貸付金支出	450
流動資産評価損等による資金減少額	20
事業活動支出計(2)	59,761
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	
当期資金収支差額合計(4)	

拠点区分

介護保険事業

(訪問介護事業・居宅介護支援事業・デイサービスセンター事業)

(単位：千円)

科目	本年度予算額
介護保険収入	70,518
障害福祉サービス等事業収入	2,040
受取利息配当金収入	3
その他の収入	1
事業活動収入計(1)	72,562

科目	本年度予算額
人件費支出	1,005
事業費支出	450
事務費支出	20
事業活動支出計(2)	59,761
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	
当期資金収支差額合計(4)	

拠点区分

高齢者就労センター事業

(単位：千円)

科目	本年度予算額
受託金収入	16,920
受取利息配当金収入	1
その他の収入	1
事業活動収入計(1)	16,922

科目	本年度予算額
事業費支出	16,310
事務費支出	612
事業活動支出計(2)	16,922
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	
当期資金収支差額合計(4)	

ボランティアセンターだより

第24回

みちくさ

ふれあいサロン

3月16日(金)、第24回ふれあいサロンが待合室「みちくさ」で開催されました。

今回は、日頃お世話になっている近隣の皆さんをお招きし、15名の方が参加してくれました。

最初に伊藤節子さんの指導による「ゆるーい体操」を行いました。この体操は、座ったままできる柔軟体操で、両手の指先から足のつま先まで血行が良くなり、体操をしているうちに身体が「ぼかぼか」になりました。

次に吉口教子さんの伴奏で昔なつかしい昭和の名曲や、小学校の音楽の教科書に載っていた覚えのある曲を全員で大合唱しました。

お楽しみタイムでは、新聞紙や折り紙を輪つなぎにして遊びました。

昼食にスタッフの作った「ちらし寿司」を食べながら色々お話しをして楽しい時間を過ごしました。



参加者で「ゆるーい体操中」



第1回

子ども食堂

～キッチン・みちくさ～

子どもの居場所づくり推進事業の一環として待合室「みちくさ」にて、3月24日(土)に子ども食堂を初めて開催しました。

「子ども食堂」とは、子どもに無料または低額で食事を提供することで子どもの居場所を作ることを目的とした取り組みで、地域の交流の場としての役割も担っています。

今回は、「カレーライス」を提供。放課後児童クラブの児童や親子連れの子どもたち約50名が参加し、みんなで食卓を囲み、賑やかな昼食を楽しみました。

今後も、月に1回のペースで「子ども食堂」を運営して参ります。



カレーライスを食べる参加者たち



キッズスペースで遊ぶ子どもたち

子ども食堂

～次回予定～

◆5月19日(土)…おにぎり、豚汁

◆6月16日(土)…カレーライス(サラダ付き)

時間 オープン：朝10時～15時(食事時間 11時30分～)

場所 待合室「みちくさ」(セブンイレブンの向い側)

料金 大人300円/小・中・高校生100円/幼児(無料)

利用人数 先着50名様(予約制)となっています。
待合室「みちくさ」482-2858まで申込下さい。

食材の寄付を募集します

「子ども食堂」で使用するための食材の寄付を募集しております。
活動に賛同してご協力頂ける方は、待合室「みちくさ」までご連絡ください。



室内には子どもたちが楽しく遊べるように絵本や折り紙、クレヨンなどたくさんの子ども用グッズが揃っています。

食事ができるまでの間、「みちくさのスタッフ」やお友達と一緒に遊ぶことができます。

皆さんのお越しを
お待ちしております。



収集ボランティア活動報告



弟子屈町社会福祉協議会預かり分／平成30年2月10日～4月12日まで
ボランティアセンター預かり分／平成30年2月10日～4月12日まで

◆エコキャップ◆

石橋 和美 様
摩周厚生病院 様
我妻 弘子 様
増子かおり 様
特別養護
老人ホーム摩周 様
朝日3丁目4班
婦人部 様
北海道弟子屈
高等学校 様
セイコーマート
川湯店(2回) 様
古瀬 マミ 様
リサイクルショップ
きずな 様
若松 一恵(2回) 様
釧路開発建設部
弟子屈事務所(2回) 様

堀内 久子 様
阿部 初恵 様
瀬原 栄一 様
セイコーマート
山名店 様
お宿 欣喜湯 様
板谷 陽子 様
匿名者 様
坂口 智美 様
すずらんこども館
風の子クラブ 様
山口 洋子 様
フレンドリーショップ
きたさん 様
北崎 翔陽 様
北崎 陽考 様
北崎 貴詩 様
北崎 博貴 様
みはらし台こども館 様

大友 文子 様
小西ちよの 様
加納 民子 様
宮崎 栄子 様
ボンネ美容室 様
ファームピープル(株) 様

◆リングプル◆

石橋 和美 様
我妻 弘子 様
特別養護
老人ホーム摩周 様
きずなのなかま達 様
堀内 久子 様
板谷 陽子 様
匿名者 様
若松 一恵 様
みはらし台こども館 様

瀬原 栄一 様
加納 民子 様
宮崎 栄子 様
ファームピープル(株) 様

◆古切手◆

弟子屈郵便局 様
2町内婦人部 様
香墨習字勉強会 様
板谷 陽子 様
片岡サチ子 様



ボランティアセンターからのお願い

いつも、収集ボランティアにご協力くださりまして、誠にありがとうございます。
ボランティアセンターから、皆さまへのお願いがございます。

現在、多くのエコキャップが届いておりますが、お寄せいただいたエコキャップの中には、汚れが落ちないものがいくつかございます。

著しく汚れているものについては、引き取れない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

持ち込まれる前に、一度水でゆすいでからお寄せいただくと大変助かります。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

あたたかい善意をありがとうございます



平成30年2月10日から平成30年4月12日までにお寄せいただいた「寄附金」・「寄贈品」を紹介します。

寄 附 金

- ◆鈴木 信一 様 50,000円 (亡父が生前お世話になったお礼として)
- ◆中澤 幸子 様 100,000円 (亡夫が生前お世話になったお礼として)

寄 贈 品

- ◆脳トレ摩周 様 ピンマイク (福祉センター内で使用するために使ってください)
- ◆(株)ツルハホールディングス様 ◆クラシエホールディングス(株)様
車イス2台 (社会貢献活動の一環として)

新任職員紹介



訪問支援員 **船坂 幸子**

4月よりヘルパーステーションましゅうの訪問支援員としてお仕事をさせていただいております。

1日も早く仕事を覚えられるように頑張りますので、どうぞよろしく申し上げます。



訪問介護員 **池谷内洋美**

不慣れなことが多く、まだまだ頼りないですが、皆さんと信頼関係を築いていけるように努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



パート訪問支援員 **五十嵐いづみ**

長年施設福祉に携わり、ヘルパー経験も2年ありますが、ブランクも2年あり、久々の仕事復帰です。

利用者さんに寄り添えるよう努力します。



退任のご挨拶

訪問介護員 **原 絹子**

平成24年4月に入社して以来、介護の仕事に携われたことを誇りに思います。

6年間の在勤中、町民の皆さまには大変お世話になりました。

どうもありがとうございました。



社会福祉法人
弟子屈町社会福祉協議会

〒088-3211

弟子屈町中央2丁目10番25号

弟子屈町社会老人福祉センター内

TEL 015-482-1054

FAX 015-482-1236

ご意見ご感想をお寄せ下さい



慶弔のお返しにか
えてまた結婚、出産
等を記念して、地域
福祉の推進のために、
皆様のご厚情をお待
ちしております。

社協の運営は、
皆様の暖かい善意に
支えられています。